

# ☆Cha Cha Cha☆

研究通信 No. 33  
令和6年3月7日(木)  
文責：村田

## 福岡教育大学福岡小学校に行ってきました！

初 Cha Cha Cha の村田です！先日、行かせていただいた福岡小学校での学びを共有します。初めての他校の研究発表大会に参加だったのでとても楽しみでした。他の先生の通信をまねしながら書いてみたいと思います。

福岡小学校では「カリキュラムマネジメント」をテーマに研究をされていました。教科の先生が身に付けさせたい力を伸ばすために、それぞれの教科が年間を通して柔軟に単元やその内容を設定されていました。また、教科だけではなく、特別活動もマネジメントされており、子どもたちの探究的な活動が充実していました。

### ①「チャレンジ」の時間の取組

授業前に「チャレンジ」と呼ばれる総合的な自由な学習ができる時間を参観しました。各教科に分かれて1年生から6年生までのグループで自由にテーマを決めて学習するというものでした。私は数学科に行きましたが、私が話した児童は「無限とパラドックス」というテーマで研究をしていました。国語科では海外の方と ZOOM で繋がり英語を調べながら会話したり、漫才を考えていたりしている児童もいました。それぞれが夢中になって学んでいる姿が素敵でした。



### ②児童による自主的な学校運営

福岡小学校では児童会活動を5・6年生だけの活動にせず、様々な活動をする際に下級生にも参加募集をかけ、希望した下級生も一緒に活動しているそうです。また、「楽しくなるための活動」をテーマに、遊びの日やボランティア清掃の日など、子どもたちが考えた活動を職員が一丸となってサポートし、実現しておられました。その結果、学校への貢献度や満足度は80%越えの結果も出たそうです。児童会の子どもたちの堂々たる発表も素晴らしかったです。



## 「フラフープ」どう教えますか？

体育担当なので体育からの視点で一つ書きたいと思います。突然ですが、「フラフープ」を先生方ならどう教えますか？これは、私が大学院(スポーツ運動学)の時に教授から初めて出された課題でした。体育の授業中に取り組むことはあまりない運動ですが、ここには運動の基本である「遠近感」「気配感」「定位感」が必要です。運動がなかなかできない児童は、もしかしたら「遠近感」「気配感」「定位感」のどれかが働いていないのかも…という視点で児童をみてみてはいかがでしょうか？現在の学習指導要領(体育)では「心と体を一体にとらえる」となっていますが、この考えもこの学問の教授も関わって作成されており、スポーツ運動学からきているとも言われています。右の本はその能力について書いている本です。体育の考え方を作ってくれた本でもあります。気になられる方はぜひ村田まで。

